

議 事 録

－令和6年度第2回浜松市森林・未来構想会議－

日時：令和6年7月25日（木）午前10時00分～12時00分

場所：静岡県浜松総合庁舎 902会議室

内容：

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題

(1) 提言書について【資料1、2】

(浜松市) 提言書の草案について、参加メンバーから意見を頂戴したので、各案について簡潔に御説明願う。

(F氏) 森林文化創造都市をキーワードとしてあげている。森と都市が両方ある浜松ならではの特色を活かして、①森の拠点 ②街の拠点 ③人材確保の3つの観点からの提言書を目指している。

(B氏) 山・教育・建築の三位一体で森林環境譲与税を活用していくことが望ましい。FSC認証材の使用に係る差額補填、民間企業の従業員を山に誘致し天竜材・天竜美林のファンを増加させる。天竜材の家百年住居る助成事業の進化、山への誘致を容易にするための林道、トイレ休憩施設等のインフラ整備の推進が必要と考える。

(浜松市) 提言書(案)について御意見を頂きたい。

(C氏) これまで具体的に議論してきた点である産業や製材としての方向性等を反映させられるとよい。中長期的な視点だけでなく、近未来を想定した提言が必要。木を使用することが当たり前の文化を醸成するためには、スタートアップ企業の誘致等の条件として地域材を使うなど、出口確保が必要。「2 街の拠点づくり」の項目に他課(林業振興課以外)と連携して出口対策の取組を進めることを追記するのはいかがか。

(F氏) 森と街の拠点づくりを行い、これらをグルグル回すことを軸に提言書を作成したが、回す役割を担うことが「3 人材確保・育成」に収斂している。例えば、「3 教育・産業・流通ルートの創造」などに修正し、具体性を持たせることもいいのでは。産業・流通もキーワードになると思料。

(C氏) 林業を盤石にするには、庁内の人材確保も必要。市役所内で完結することが難しい場合は、NPO法人の立ち上げるなども視野に入れた取組も必要になる。

(E氏) 産業が生活を牽引して文化が醸成されることが常。従って、提言書の冒頭に、林材業として「決意表明」があった方がよいのではないか。

(D氏) メンバーから意見が挙げた「環境に熱心な企業の木質化」は非常に重要。市内に自動車、楽器製作会社等があるが、木材利用の意識は低調で、木材の利用方法も模索している状況。浜松市に誘致した企業の木材利用を義務化するなどの取組を進めてもよい。

(A氏) 企業側への木材利用を促進するための木が使われても、見えない事例が多い。木の良さがもっと多くの方に見えるような事例を増やしたい。

(G氏) 提言を見たときにワクワクした。森林環境税を納めている市民目線だと、人が楽しく集まれる場所(例：焼津おもちゃ美術館)ができるのでは、という期待感を抱ける。一方、製材事業者としての立場として何ができるのか懸念する一面もある。

(B氏) 浜松駅にはピアノが置かれているが、木質化を進め浜松市の象徴的な物件とすることはできないのか。「山の未来を守るため」に主眼を置くことが、提言書の位置付けとして重要だと考える。林業目線で産業全体に対するエゴを反映させる形は避けたい。

(H氏) 木材が象徴的に使用されている事例に金沢駅がある。木材の強みである、異素材との組み合わせが可能な点や、腐朽したら取替が可能な点をもっと市街地で普及できるとよい。浜松ならではのストーリーがオンされた上で、地域産業とマッチングした木材利用が進行すれば理想。

(浜松市) 提言書のリード文が非常に重要で、この内容をもって市長・副市長にも提言書の着地点・ゴールが認知されるはず。

(浜松市) 今回、要望書から提言書から変更した。「お願い」ベースの要望だと効果が薄いものと思われる可能性が高い。行政職員がベースに作成したものより、委員の生の声を届けることが重要。決意表明という意見も出たが、「浜松市が持っている産業としてのポテンシャルの高さ」を伝えた上で、林業を盛り上げることが全体の産業振興に直結することを改めて首長と共通認識を得る機会にしたい。再三になるが、委員と市長の思いが近いものとなる提言書を目指すことが有意義ではないか。

(F氏) 「産業」という言葉を言い換えると「プロデュース」。ただ、片仮名にすると一般的な市民に浸透している言葉の解釈と乖離する可能性あり。

(E氏) 「納税者」というワードが出てくるとインパクトがある。

(C氏) 市長の林業に対する認識を聞きたい。数度お会いした印象では、天竜材をいいものと認識しており、好き。そして、薄利多売を好んでいないイメージだった。良いものに付加価値をつけて売っていくことは、市長が思い描く地方創生にリンクすると考える。

(F氏) 「森林文化の『価値』を創造するための拠点」。このような考え方もあるのでは。「3 人材確保・育成」の件には、修了証が連呼されているが、これに拘らず、手段の1つとして認識してもらえればいい。

(B氏) 市民が親しみやすい山を創ること、を盛り込みたい。

(D氏) 納税者が納得できる、透明性の高さを確保した事業が実現する提言になれば。

(浜松市) リード文の推敲・整理をメンバーにお願いする。提言書に記載される三本柱に盛り込みたい内容は7月末日までに意見を頂きたい。当該内容を踏まえてアップデートする。

(2) その他

(B氏) 民間事業者からの問合せ・相談が増加している（森林及び製材工場の見学等）。FSC 認証材を使用したい相談、環境配慮に関する取組についての相談等が多い。ここに来て、FSC 認証に係る意識の高まりを感じる。

4 報告、連絡事項

5 閉会

<会議の様子>

